

瑞浪市化石博物館協議会議事

令和5年度事業報告

1) 普及活動の充実

① 企画展等の開催(定期展示会開催事業)

- ◆ 名称 令和5年度企画展「パレオパラドキシアの研究室」
期 間 5月10日(水)～令和6年3月31日(日)
概 要 釜戸町で発掘されたパレオパラオドキシアについて展示。産状レプリカに加え、クリーニングにより岩石から分離できた骨を随時展示した。9月16日(土)～10月22日(日)にはクリーニング途中の頭骨を展示した。

来館者 18,528名

② 講座等の開催(定期講座開催経費)

- ◆ 名称 みずなみ化石教室(半日コース・一日コース)
概 要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集(半日コース)、石膏による化石レプリカづくり+化石のクリーニング(一日コース)を行った。

開催日 毎月1回

定 員 半日コース：30名、1日コース：20名

参加費 半日コース：500円、1日コース：1,000円

- ◆ 名称 みずなみ化石教室上級コース
概 要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行った。
開催日 5月27日(土)、10月28日(土)
条 件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
定 員 10名 参加費 1,500円

- ◆ 名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～
概 要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行った。

開催日 7月27日(木)、28日(金)、8月12日(土)

時 間 9時30分から15時30分

定 員 20名 参加費 2,000円

講 師 川瀬基弘氏、村宮悠介氏、市村駿汰氏、片田はるか氏、当館学芸員

- ◆ 名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～
概 要 化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編

修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には認定証を授与した。

開催日 8月13日(日)
 時間 9時30分から15時
 定員 10名 参加費 1,500円
 講師 安藤佑介(当館学芸員)

◆名称 恐竜の模型を作ろう(入門編)
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをして復元模型を制作した。

開催日 8月19日(土)・8月20日(日)
 時間 19日:13時~15時、20日:9時30分~11時30分
 定員 各回20名 参加費 1,500円
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

◆名称 恐竜の模型を作ろう(応用編)
 概要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行った。

開催日 8月20日(日)
 時間 13時~15時30分
 定員 15名 参加費 2,000円
 講師 徳川広和氏(恐竜模型作家)

◆名称 コハクの原石を磨こう!
 概要 コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成した。

開催日 10月22日(日)
 時間 10時から12時、13時から15時
 定員 各回20名 参加費 1,500円
 講師 安藤佑介(当館学芸員)

③博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬から延べ10日間、実習生1名(信州大学理学部)を受け入れた。

④学校等団体の対応(展示解説・化石採集) ※太字が市内学校等団体

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	明世小学校2年生	6月29日	25名	パレオパラドキシアの化石案内、展示解説

2	名古屋市立向陽高校	8月1日	19名	化石採集、博物館見学
3	大阪府小学校理科部会	8月26日	7名	博物館見学
4	土岐小学校6年生	10月12日	62名	化石採集、博物館見学
5	名古屋大学博物館	9月12日	11名	化石採集、博物館見学
6	岐阜県教職員研修	10月6日	14名	化石採集、博物館見学
8	日吉小学校3年生	10月18日	6名	博物館見学
9	土岐市泉町育成会	11月3日	17名	博物館見学
10	退職校長会	11月15日	20名	博物館見学
11	瑞浪小学校6年生	11月22日	120名	化石採集
12	愛知大学	11月23日	7名	博物館見学
13	名古屋市科学館	12月10日	35名	博物館見学、化石採集
14	城を見る会	12月17日	27名	博物館見学
15	阿南町教育委員会	12月19日	2名	展示室視察
16	瑞浪北中学校1年生	2月6日	104名	博物館見学
17	瑞浪市退職公務員連盟	2月24日	18名	博物館見学
18	多賀町立博物館	2月28日	8名	展示室視察

⑤出前授業・講演会・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概要 市内の小中学校等を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要望があった場合は随時対応を行った。4月に教頭会、理科部会で宣伝を行った。※太字が市内団体

	団体名・場所	対応日	人数等	内容等
1	寿大学（釜戸公民館）	4月20日	40名	パレオパラドキシアについて講演
2	釜戸町育成会（釜戸公民館）	6月23日	41名	パレオパラドキシアについて講演
3	釜戸化石教室（釜戸公民館）	8月11日、18日、 9月10日	12名	化石採集、講義
4	みずなみかたりべの会、市民講座（文化センター）	9月9日	29名	パレオパラドキシアについて講演
5	蒲郡市生命の海科学館（YouTube ライブ）	10月7日	36名	パレオパラドキシアについて講演、展示解説
6	釜戸町文化祭（釜戸公民館）	10月21日～22日	不明	産状レプリカの展示、展示解説
7	俳句の会（多治見市ヤマカまなびパーク学習館）	10月21日	28名	パレオパラドキシアについて講演

8	瑞浪北中学校	11月15日	283名	産状レプリカの解説
9	瑞浪小学校3年生	12月6日	61名	産状レプリカの展示、化石についての授業
10	豊橋市自然史博物館（愛知県豊橋市）	1月8日	45名	パレオパラドキシアについて講演
11	みずなみかたりべの会、かたりべ養成講座（文化センター）	2月17日	13名	パレオパラドキシアについて講演
12	きしわだ自然資料館（大阪府岸和田市）	2月18日	14名	パレオパラドキシアについて講演（オンライン）
13	瑞浪中学校1年生	3月27日	90名	産状レプリカの展示、化石についての授業
14	サイエンスワールド	3月16日	77名	パレオパラドキシアについて講演

⑥パレオパラドキシアに関連した海の学び普及事業

（定期展示会開催事業、パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業）

概要 パレオパラドキシアが見たみずなみのうみべー化石から学ぶみずなみが海だったころーの事業名で公益財団法人日本海事科学振興財団より支援を受けて海の学びに関する以下の普及事業を行う（支援金額：114万円）。

（1）産状レプリカを用いた教育普及活動

持ち運び可能な出前講座用の産状レプリカ展示台を制作し（制作費：約40万円）、博物館や市内小中学校等で展示解説を行った。計21件、延べ839名に産状レプリカを使った展示解説を行った。

（2）パレオパラドキシアが見たみずなみのうみべワークショップ

公民館や他の博物館（きしわだ自然資料館・豊橋市自然史博物館等）と連携してパレオパラドキシアがいたころの瑞浪市の様子についての講演会を行う。計10件、延べ793名（アーカイブ視聴含む）に講演を行った。

（3）「パレオパラドキシアが見たみずなみのうみべ」ガイドブックの刊行

海の学びの質向上と持続可能な事業展開を目的に、パレオパラドキシアがいた瑞浪市が海だったころの様子を詳しく知ることのできるガイドブックを4,000冊刊行し、市内小学6年生～中学3年生の児童

生徒に配布した。また、出前授業等の資料として活用した。(約 65 万円)。

2) 資料の充実と調査・研究

①パレオパラドキシアのクリーニングと調査 (パレオパラドキシア緊急発掘・調査事業)

令和4年6月10日に発掘したパレオパラドキシア瑞浪釜戸標本のクリーニングを進めるとともに、研究グループを結成して研究を行った。令和5年12月までに得られた成果をまとめた調査報告書(瑞浪市化石博物館研究報告第50巻第3号:パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本調査報告書)を刊行した(500冊:66万円)。

②資料の閲覧

	申請者・所属	閲覧日	資料名・数量
1	ロバート・ジェンキンス(金沢大学)	4月6日	師崎層群産魚類4点
2	加瀬友喜(国立科学博物館)	5月19日	瑞浪層群産貝類3点
3	木村由莉(国立科学博物館)	8月9日	瑞浪層群産ほ乳類10点
4	新山颯大(沖縄県立博物館)	9月13日	沖縄産化石50点
5	木澤慶和(加茂高校)	9月30日	カニサイ2点

④資料の貸し出し

	申請者・所属	閲覧日・貸出期間	資料名・数量
1	豊橋市自然史博物館	5月16日~9月29日	鰭脚類頭骨レプリカ1点、第37回特別企画展「カイジュウ博」で展示のため
2	蒲郡市生命の海科学館	5月18日~9月20日	サメの歯3点、企画展「サメ展」で展示のため
3	加瀬友喜(国立科学博物館)	5月19日~令和6年8月31日	<i>Bellucina</i> (貝化石)1ロット、研究のため
4	ATC ギャラリー(大阪府)	7月1日~10月31日	ヒッパリオン1点、「化石ハンター展 大阪展」で展示のため
5	芳賀拓真(国立科学博物館)	7月12日~令和6年7月12日	<i>Sunettina</i> (貝化石)1ロット
6	名古屋市科学館	11月1日~令和6年2月28日	ビカリア、ミズノテングエビ、「化石ハンター展 名古屋」で展示のため

			屋展」で展示のため。パレオパラドキシア産状レプリカ型1点、産状レプリカ制作のため
7	名古屋大学博物館	11月1日～令和6年5月31日	カニ化石1点、特別展「球状コンクリーションの謎Ⅱ」で展示のため
8	サイエンスワールド	2月27日～4月10日	ビカリアなど9点、「出張！瑞浪市化石博物館」で展示のため

⑤調査・研究事業（定期研究報告刊行事業、化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・九州産（主に薩摩川内市）カニ化石の研究（担当：安藤、継続中）
- ・釜戸町産パレオパラドキシアの研究（骨格、共産化石など）
（担当：安藤、国立科学博物館等と共同、一部は令和5年度に完了）
- ・海底洞窟堆積物より産出した十脚類化石
（担当：柄澤、国立科学博物館と共同、継続中）
- ・平成30年に市内で発見されたシカ化石の記載（新属新種）
（担当：安藤、ふじの国地球環境史ミュージアムと共同、継続中）
- ・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討
（担当：柄澤、継続中）
- ・更新世のフジツボ化石の分類学的研究、クジラやサンゴに特徴的に着床するフジツボ類の改訂（担当：柄澤、新規テーマ）
- ・生命の樹プロジェクトー十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究）

⑥展示資料等の購入（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・研究用書籍：Marine Decapod Crustacea など2冊を購入。

⑦古生物データベースの更新（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を行った。3月末時点での登録数は、5,489点である。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。

⑧化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

研究報告第50巻第1、2号を令和6年3月13日に250部刊行した。13編の論文を収録した（アメリカ3編、イギリス1編、スペイン2編、日本7編）。

⑨職員による論文の発表：3月31日までに下記論文が出版された。

- ・ Karasawa H. 2023. Fossil whale barnacles (Cirripedia: Thoracica: Coronuloidea) of Japan. Bulletin of the Mizunami Fossil Museum 50(1): 1-19.
- ・ Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, and H. Karasawa. 2023. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8T21: Systematic Descriptions: Subsection Thoracotremata. Treatise Online 166: 1-25.
- ・ Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, H. Karasawa, A. A. Klompmaker, and C. M. Robins. 2023. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8T22: Systematic Descriptions: Infraorder Anomura. Treatise Online 168: 1-31.
- ・ Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, M. Hyžný, and H. Karasawa. 2023. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8T24: Systematic Descriptions: Infraorder Axiidea and Gebiidea. Treatise Online 170: 1-32.
- ・ Ng, P. K. L., H. Karasawa, and H. Kato. 2023. *Arges* De Haan, 1833: A senior synonym of *Typhlocarcinops* Rathbun, 1909 (Brachyura, Pilumnidae). Crustaceana 96(7): 703-714.
- ・ Schweitzer, C. E., R. M. Feldmann, H. Karasawa, A. A. Klompmaker, and C. M. Robins. 2023. Part R, Revised, Volume 1, Chapter 8T224: Systematic Descriptions: Infraorder Axiidea and Gebiidea. Treatise Online 170: 1-32.
- ・ 安藤佑介・荒岡大輔・吉村寿紘・中島 礼. 2024. 瑞浪層群明世層産貝類におけるストロンチウム同位体年代の再計算結果. 瑞浪市化石博物館研究報告 50(2): 7-8.
- ・ 安藤佑介. 2024. パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の研究 (概要). 瑞浪市化石博物館研究報告 50 (3) : I-XVI.
- ・ 安藤佑介・楓 達也・合田隆久・水野利之. 2024. パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の発見・発掘・剖出の記録. 瑞浪市化石博物館研究報告 50 (3) 113: 1-12.
- ・ 安藤佑介. 2024. パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本産地の瑞浪層群宿洞層から産出した貝類化石. 瑞浪市化石博物館研究報告 50 (3) : 67-72.
- ・ 小田 隆・安藤佑介・新村龍也・北川博道・甲能直樹. 2024. パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本復元画の制作. 瑞浪市化石博物館研究報告 50 (3) 113: 109-111.

⑩報道発表、広報への記事掲載

広報みずなみに、パレオパラドキシア産状レプリカ完成の記事を6月号、パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本についてわかったこと① (70%の骨が発見された) を10月号、パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本についてわかったこと② (死

んだあとサメに食べられた)を2月号に掲載した。また、パレオパラドキシアレプリカお披露目会(5月3日)、パレオパラドキシアの頭骨公開(9月15日)、パレオパラドキシアガイドブックの刊行(11月15日)の情報提供を行った。

3) 化石博物館の改修について(化石博物館改修事業)

化石博物館老朽化に伴う施設改修(①雨漏り対策、②電気設備更新)のための調査及び実施設計を行った。改修工事は、令和6年度に実施予定である。

4) 国民文化祭について(国民文化祭(瑞浪化石フェスタ)開催事業)

令和6年度に岐阜県で開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024(国民文化祭)で、「みずなみ化石フェスタ～パレオパラドキシア大集合～」を開催する。釜戸町で発掘されたパレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の復元骨格に加え、福島県、埼玉県、岡山県で発掘されたパレオパラドキシアの復元骨格を瑞浪市総合文化センターで展示する(令和6年10月19日(土)～10月27日(日)を予定)。併せて、専門研究者による座談会、展示解説会を開催する。令和5年度に、展示予定の骨格標本の事前調査、借用交渉を行った。

資料

令和5年度入館者数 (人)

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	4年度	比較
4	915	678	80	38	1,711	2,118	-407
5	2,056	1,610	159	75	3,900	4,857	-957
6	666	502	2	47	1,217	1,617	-400
7	869	691	95	100	1,755	2,026	-271
8	1,868	1,549	89	218	3,724	3,498	226
9	986	611	29	37	1,663	1,576	87
10	1,227	777	233	140	2,377	2,639	-262
11	921	597	138	138	1,794	2,072	-278
12	469	269	75	48	861	769	92
1	457	301	27	63	848	723	125
2	806	494	18	199	1,517	1,016	501
3	880	629	53	117	1,679	1,755	-76
合計	12,120	8,708	998	1,220	23,046	24,666	-1,620

令和5年度野外学習地利用者(人)

月	個人組数	個人人数	団体組数	団体人数	組数合計	人数合計	4年度	比較
4	149	506	2	39	151	545	1,307	-762
5	484	1,746	10	255	494	2,001	2,440	-439
6	133	436	3	53	136	489	541	-52
7	187	588	3	99	190	687	666	21
8	292	1,003	10	285	302	1,288	1,209	79
9	203	637	4	107	207	744	715	29
10	233	763	14	425	247	1,188	1,635	-447
11	231	770	12	373	243	1,143	1,299	-156
12	91	287	7	139	98	426	557	-131
1	82	258	1	94	83	352	226	126
2	83	255	1	78	84	333	392	-59
3	91	292	6	142	97	434	918	-484
合計	2,259	7,541	73	2,089	2,332	9,630	11,905	-2,275

令和5年度みずなみ化石教室参加者（人）

半日コース		一日コース		上級コース	
定員 30名		定員20名		定員10名	
開催日	受講者数	開催日	受講者数	開催日	受講者数
4月23日	22	4月23日	18		
				5月27日	13
7月16日	32	7月16日	21		
9月17日	26	9月17日	6		
10月15日	26	10月15日	19		
11月12日	29	11月13日	15		
12月3日	8	12月4日	14		
1月28日	3				
2月25日	14				
3月17日	30				
合計	190	合計	93	合計	13

※5月と6月は悪天候により中止。10月28日の上級コースは受講者が集まらなかったため中止。

令和5年度各講座受講状況 (人)

講座名	開催日	受講者数	定員
化石マイスター養成編①	7月27日	19	20
化石マイスター養成編②	7月28日	20	20
化石マイスター養成編③	8月12日	21	20
化石マイスター認定編	8月13日	8	10
恐竜の模型を作ろう(入門編)	8月17日	14	20
恐竜の模型を作ろう(入門編)	8月18日	19	20
恐竜の模型を作ろう(応用編)	8月18日	16	15
コハクの原石を磨こう①	10月22日	19	20
コハクの原石を磨こう②	10月22日	15	20
合計		151	165

令和6年度事業について

1) 普及活動の充実

① 企画展等の開催（定期展示会開催事業）

- ◆ 名称 令和6年度企画展「パレオパラドキシアの研究室」
- 期 間 4月2日（火）～12月27日（金）
- 概 要 令和5年度に開催した展示を継続して行う。令和6年3月までに得られた成果を展示に反映する。

② 講座等の開催（定期講座開催経費）

- ◆ 名称 みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
- 概 要 小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり+化石のクリーニング（1日コース）を行う。

開 催 日 毎月1回

定 員 半日コース：30名、1日コース：20名

参加費 半日コース 500円 1日コース 一般：1,000円

- ◆ 名称 みずなみ化石教室上級コース
- 概 要 化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。
- 開 催 日 5月25日（土）、11月23日（土）
- 条 件 小学4年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
- 定 員 10名 参加費 1,500円

- ◆ 名称 夏の化石教室～化石マイスター養成編～
- 概 要 小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。
- 開 催 日 7月25日（木）、26日（金）、8月10日（土）
- 時 間 9時30分から15時30分
- 定 員 20名 参加費 2,000円
- 講 師 川瀬基弘氏、片田はるか氏、市村駿汰氏、村宮悠介氏、当館学芸員

- ◆ 名称 夏の化石教室～化石マイスター認定編～
- 概 要 化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には認定証を授与する。
- 開 催 日 8月11日（日）

- 時 間 9時30分から15時
 定 員 10名 参加費 1,500円
 講 師 安藤佑介（当館学芸員）
- ◆名 称 パレオパラドキシアを復元しよう ※新規講座
 概 要 パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の3D骨格画像にイラストで肉付けを行う。
 開 催 日 8月17日（土）
 時 間 13時～15時
 定 員 各回20名 参加費 1,000円
 講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名 称 恐竜の模型を作ろう（入門編）
 概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。
 開 催 日 8月18日（日）
 時 間 9時30分～11時30分
 定 員 各回20名 参加費 1,500円
 講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名 称 恐竜の模型を作ろう（応用編）
 概 要 恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。
 開 催 日 8月18日（日）
 時 間 13時～15時30分
 定 員 12名 参加費 2,000円
 講 師 徳川広和氏（恐竜模型作家）
- ◆名 称 化石検定
 概 要 令和5年にミライ創ろまい課がプレテストを行った化石検定の本試験を行う。試験後は監修した講師による講演会を行う。ミライ創ろまい課と共催イベントとする。
 開 催 日 10月19日（土）
 時 間 13時～15時 場 所 瑞浪市総合文化センター3階講堂
 定 員 100名 検定料 無料
 講 師 木村由莉（国立科学博物館）、大路樹生（名古屋市科学館）、服部創紀（福井県立大学）、相場大佑（深田地質研究所）
 ※大路氏、服部氏、相場氏はオンラインで参加

◆名称 小さなほ乳類化石を探そう！
概要 高知県の洞窟から採集した堆積物から小さなほ乳類の化石を探し、標本作成を通じて化石の観察法などを学ぶ。
開催日 10月20日（日）
時間 9時30分～11時30分
定員 20名 参加費 1,000円
講師 木村由莉（国立科学博物館）

◆名称 コハクの原石を磨こう！
概要 コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。
開催日 11月17日（日）
時間 10時から12時、13時から15時
定員 各回20名 参加費 1,000円
講師 当館学芸員

③博物館実習生の受け入れ

概要 7月下旬の1週間、実習生を受け入れる。

④出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概要 市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらおう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。

開催日 要望があった場合は随時（要予約）

講師 当館学芸員

対象 小学4年～中学3年

2) 資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業（定期研究報告刊行事業、化石博物館資料収集・備品等購入経費）

・パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の研究（継続）

（担当：安藤、パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本研究プロジェクトのうち、軟骨の研究、産状の研究を国立科学博物館、東京都市大学と共同で実施）

・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討（担当：柄澤、継続中）

・更新世のフジツボ化石の分類学的研究、クジラやサンゴに特徴的に着床するフジツボ類の改訂（担当：柄澤、継続中）

・生命の樹プロジェクト—十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究

(担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究)

②展示資料等の購入（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

- ・ 図書コーナー用図書：ナゾ解き進化論等を購入予定。
- ・ 研究用書籍：1st Edition Marine Decapod Crustacea を購入予定。

③古生物データベースの更新

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。

④化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和6年度は研究報告第51巻の公開を行う。公開された論文については令和7年3月に冊子媒体で250部出版する予定である。

3) 化石博物館施設及び展示室の改修について（化石博物館改修事業）

化石博物館老朽化に伴う施設改修工事である①雨漏り対策、②電気設備更新を行う。改修工事は、令和7年1月～2月に実施予定である。この期間は休館する。

4) 展示室の改装について（パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本展示事業（市制70周年記念））

令和6年10月にパレオパラドキシア復元骨格、復元画、復元模型が完成予定。国民文化祭にてお披露目した後、令和7年1月～2月に博物館を休館し、展示室を改装し、これらを展示する。主な改装内容は、①地図コーナーを撤去し、そこにパレオパラドキシア復元骨格を復元画などとともに展示、②地質年代表周辺を改装し、ミニ展示コーナーを作る、である。

5) 国民文化祭について（化石フェスタ開催事業（「清流の国ぎふ」文化祭））

令和6年度に岐阜県で開催される「清流の国ぎふ」文化祭2024（国民文化祭）で、「みずなみ化石フェスタ～パレオパラドキシア大集合～」を開催する。釜戸町で発掘されたパレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の復元骨格に加え、福島県、埼玉県、岡山県で発掘されたパレオパラドキシアの復元骨格を瑞浪市総合文化センターで展示する（令和6年10月19日（土）～10月27日（日）を予定）。併せて、専門研究者による座談会、展示解説会を開催する。

報告事項

1)文化施設再編について

文化施設の再編について、担当課としては化石博物館、陶磁資料館、美術館の3館を統合し、新博物館を建設することについて検討している。全庁的に方向性を協議した結果、“第二ステージ”(サイエンスワールド横の空き地)を候補地とすることが決定し、スケジュールは財政的な面も考慮し、総合的に判断することが決定した。今年度以降は、基本構想等の実施計画を策定する予定である。具体的な建設計画の策定段階で当協議会でも報告する。

協議会委員名簿(令和6年4月1日～令和8年3月31日:任期2年)

氏名	住所	選出区分
吉田 英一	名古屋大学博物館 館長(教授)	学識経験のある者
松岡 敬二	豊橋市自然史博物館前館長	学識経験のある者
中山 京三	瑞浪市サッカー協会理事長	社会教育関係者
西尾 京子	化石博物館ボランティア 市民図書館読み聞かせボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者
加納 礼爾	明世小学校長	学校教育関係者